

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	判定基準	成果・課題・改善策
1. 地域と連携したグローバル人財の育成 ①小中学校等との協働研究事業を推進する ②小中学校と生徒間交流事業を拡充する ③実践的・探究的地域学習を充実する	<ul style="list-style-type: none"> * 地域連携の協議会 * 授業公開と授業参観 * 研究授業と研究協議会 	協議会、授業参観、研究授業等に参加し、地域の教育力の向上に貢献できたと考える教員の割合が A 70%以上 B 50%以上 C 30%以上 D 30%未満	<u>78% A</u>	成果：本校の教員が輪島中学校の授業を参観したことにより、中学校の授業の状況や生徒の状況について理解を深めた。 課題：参観だけにとどまらず、中高個々の教員の指導力向上を図り、地域全体の教育力向上を目指すこと。 改善策：中高教員による研究協議会を開催して意見交換をし、指導力向上に繋げる。
	<ul style="list-style-type: none"> * 挨拶指導 * 中高学習交流 * 進路学習交流 	小中学校との生徒間交流事業の実施回数が A 8回以上 B 6回以上 C 4回以上 D 3回以下	<u>4回 C</u>	成果：中学生との学習交流会や中学校でのキャリア教育講演会、挨拶指導に参加した生徒は、地元の生徒に「教える」という体験を通して地域貢献意識を高め、達成感を得た。 課題：より多くの生徒が参加できる機会を増やすこと。 改善策：小中学校との情報交換を行ってスケジュール調整に努め、内容を検討し実施回数を増やす。
	<ul style="list-style-type: none"> * 地域調べ学習と成果発表 * 朝市出店販売実習 * 地域ボランティア 	課題意識を持って、積極的に地域と関わり、地域への理解を深めることができた生徒の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	<u>75% C</u>	成果：地域調べ学習や地元企業見学会、インターンシップ、朝市販売実習を通して、生徒の地域理解が深まった。 課題：地域の課題やその解決策について、より深く探究しようとする意識を高めること。 改善策：活動後の事後指導を充実させ、課題意識の深化を図る。

平成29年度 中間自己評価

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	判定基準	成果・課題・改善策
<p>2: 主体的な学習態度と深い思考力の向上</p> <p>①習熟度別学習指導を充実する</p> <p>②ICTを活用したアクティブ・ラーニング型授業を推進する</p> <p>③地域調べ学習で培った能動的姿勢を教科学習に活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 習熟度別授業 * 発展学習講座 * 個別添削指導 * 土日学習会 	<p>入学当初の模試より模試成績を向上させた1年生の生徒が</p> <p>A 80%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満</p>		<p>成果:</p> <p>課題: 10月模試の結果で判断</p> <p>改善策:</p>
	<ul style="list-style-type: none"> * アクティブ・ラーニング型授業のための研修会 * 授業改善計画 	<p>アクティブ・ラーニング推進にむけた校内研修会の実施回数</p> <p>A 10回以上 B 8回以上 C 6回以上 D 5回以下</p>		<p>成果:</p> <p>課題: 研修会は9月下旬より実施</p> <p>改善策:</p>
	<ul style="list-style-type: none"> * 習熟度別学習課題 * 学習時間調査 * 個別面談 	<p>自ら学習課題に取り組み、主体的・発展的に学習する習慣が身についたと考える生徒の割合</p> <p>A 80%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満</p>	<p><u>71% B</u></p>	<p>成果: 前年度より継続して行っている「習熟度別学習課題の工夫」により、生徒の主体性が維持・向上しているものと思われる。</p> <p>課題: 幅広い学力層の生徒に対して、それぞれより効果的な課題を提示すること。</p> <p>改善策: 今後も継続して「習熟度別学習課題の工夫」に取り組むとともに、学習課題について教科別・学年別に検討を重ね、よりよい課題を提示していくことで数値の改善を図る。</p>

平成29年度 中間自己評価

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	判定基準	成果・課題・改善策
<p>3: キャリア意識と人間力の向上</p> <p>①3年間を見通した組織的な教科指導と進路指導を実践する</p>	<p>* 3年間を見通した指導計画の作成と実践</p> <p>* 進路自主学习</p>	<p>内定した企業や合格(出願)した大学等に満足している生徒の割合が</p> <p>A 90%以上</p> <p>B 80%以上</p> <p>C 70%以上</p> <p>D 70%未満</p>		<p>成果:</p> <p>課題: 進路状況確定後判断</p> <p>改善策:</p>
<p>②両科生徒が協働した事業を実施する</p> <p>③学校行事・課外活動を活性化する</p>	<p>* 全校挨拶運動</p> <p>* 登校指導</p>	<p>自分はTPOに応じて、適切な振る舞いができていると考える生徒の割合が</p> <p>A 80%以上</p> <p>B 60%以上</p> <p>C 50%以上</p> <p>D 50%未満</p>	<p><u>93% A</u></p>	<p>成果: 部活動ごとの挨拶運動や生徒会役員での挨拶運動を実施し、生徒の活動機会を増やしたことで、9割以上の生徒が「ある程度身についてきている」と評価した。</p> <p>課題: 各課と連携し、自ら挨拶が出来るよう生徒の活動機会を計画的に設ける。</p> <p>改善策: 登校指導、朝の挨拶練習、部活動、生徒会との挨拶運動は今後も継続する。授業における挨拶指導や小学生との挨拶運動を実施する。また、生徒会課とも連携しながら各クラスごとの挨拶運動等を実施することで生徒の活動機会を増やし、生徒同士の交流を図りながら挨拶に対する意識を高めたい。</p>
	<p>* チャレンジウォーク</p> <p>* 学校祭</p> <p>* 部活動</p> <p>* ボランティア活動</p>	<p>学校行事や部活動に積極的に取り組むことができたと考える生徒の割合が</p> <p>A 90%以上</p> <p>B 80%以上</p> <p>C 70%以上</p> <p>D 70%未満</p>	<p><u>93% A</u></p>	<p>成果: 多くの生徒が学校行事や部活動に積極的に取り組むことができたと考えている。</p> <p>課題: その取組によって達成感や充実感を得て、その後の学校生活に生かされているか検証しなければならない。</p> <p>改善策: 生徒会執行部の中で、アンケート結果について主体的に分析させ、生徒間の中で発展的解決策を検討する。</p>